

哲學研究

第四十五卷 第九册

第五百二十七號

昭和四十九年五月三十日發行

機能分析の方法……………中久郎

——デュルケム理論の問題——

宗教的死と愛 (三)……………石井誠士

——キェルケゴールを通して——

ヒュームの哲學 (一)……………木曾好能

——その因果論——

デカルトにおける「直観」……………山田弘明

京都大學文學部 内市左京區去田本町
京都哲學部 京都國語學部 京都大學文學部
京都大學文學部 京都大學文學部 京都大學文學部

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、〇〇〇圓（會誌五冊分を含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

池田祐義	柿崎祐一	梶山好雄	木曾善三	清水義範	武内一	辻村公	中久	野田又郎	服部正明	藤澤令夫	武藤一雄	本吉良	森口美都	山田	湯淺幸晶	吉岡健二
------	------	------	------	------	-----	-----	----	------	------	------	------	-----	------	----	------	------

謹
告

このたび、「哲学研究」誌の制作費（紙代・組代・刷代）の約二割の高騰と、近き将来の送料値上げ見込み等のため、本会としましても種々苦慮いたしました。が、五二七号（本号）より、従来の会費一年分三、六〇〇円（会誌十二冊分）を二、〇〇〇円（会誌五冊分）に値上げせざるを得なくなりまして、会員諸賢の御了承と引続いての御支授とをお願い申上げる次第でございます。

なお、市販の場合の定価は一冊四五〇円（従来は三五〇円）となります故、併せて御承知願います。

尚、従来お預りしている会費は右に準じて清算いたします。

Descartes (1966)

Leibniz: *Meditationes de cognitione, veritate et idels*

E. Brehier: *Histoire de la Philosophie*, tome II, fascicule

(筆者 京都大学大学院文学研究科〔哲学〕博士課程在学)

1 (1968)

(一)

G. Rodis-Lewis: *Descartes et le rationalisme* (1970)

L. Brunschvicg: *Écrits philosophiques*, I (1951)

A. Koyré: *Essai sur l'idée de Dieu et les preuves de son*

編集後記

existence chez Descartes (1922)

本誌「哲学研究」の初代の編集代表者であり、執筆者として

J. M. Le Blond: "Les natures simples chez Descartes"

も永年にわたって御活躍になり、本会が大変お世話になりました

(*Archives de Philosophie* 1937)

た植田壽藏先生(美学美術史)が、昨年十一月二十七日に逝去

Aristoteles: *Metaphysica*

されました。会員の皆様と共に、先生の御冥福をお祈り申し上げます。

Spinoza: *Principia philosophiae cartesianae*

編集委員一同

次 号 論 文 予 告

探求トロムス……………	水 垣 涉
アリストテレスの シュロギスモス體系……………	淺 野 裕 英
浪漫主義美學についての 一考察……………	神 林 恒 道
——その神話解釋の問題を めぐって——	
書評 R. E. Allen: <i>Plato's Euthyphro</i> and the Earlier Theory of Forms……………	田 中 邦 夫

前 号 目 次

彫刻の和様……………	清 水 善 三
必然性と反事實的條件文……………	藪 木 榮 夫
イエナ時代のヘーゲルに ついての一考察……………	山 本 道 雄
——近代の黙示録『絶対自由と 恐怖』——	
M・メルロー・ポンティの身體論……………	布 施 佳 宏
——le corps propre に ついて——	

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年二、〇〇〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京九二四七二番）宛に願います

一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和四十九年五月二十五日印刷
昭和四十九年五月三十日發行

編輯兼
發行人 京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編輯代表
木 會 好 能

賣 捌 所 株 式 會 社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東京千代田區一番町一七番地
振替口座東京九二四七二
電話東京二六三一七二〇（代表）

印 刷 所 中 光 印 刷 所

東京都豊島區高田一―二―一四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價四
五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和四十九年五月三十日發行

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLV

May 1974

No. 9

Functional Analysis in Durkheim's WorkHisao Naka

Der religiöse Tod und die LiebeSeishi Ishii

The Philosophy of David Hume I

— *On His Theory of Causation* —Yoshinobu Kiso

Intuition chez DescartesHiroaki Yamada

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University

Kyoto Japan

定價
四五〇圓